第十次金ケ崎町総合発展計画(概要版)

将来像

人と地域が支えあうまち 金ケ崎 ~連携と協働のもと、今もこれからも住みたい町、住んで良かったといえる町の実現~

計画期間

平成28年度 ~ 平成32年度

(10年後(平成37年度)を目標年次と定めた5年間の計画)

現状と課題

1 人口減少社会への突入

- ・合計特殊出生率は低下を続けていることに加え、若い女性の流出により出生数自 体が減少傾向にあること
- ・高齢者人口は、2025年まで増加を続け、その後減少に転じるものの、若年層の人 口は減少を続けることから、高齢化率は上昇する傾向にあること

2 産業の動向

- ・若年層の不安定雇用や経済的格差の拡大、経済のクローバル化による国際間・ 地域間の競争が激しさを増していること
- 新たな産業分野の誘致等、安定した雇用の拡大を図る必要があること
- ・農業では、農業従事者の高齢化など農業経営は厳しさを増しているため、農業所 得の向上や担い手の育成が課題となっていること

3 環境問題

- ・地球温暖化等の地球環境問題への対応、エネルギー需要の拡大等を背景とした 再生可能エネルギーの拡大など、エネルギー政策の転換が求められていること
- ・金ケ崎町の恵み豊かな環境を後世に継承するため、循環型社会の形成、地球温 暖化対策、生物多様性に配慮が必要となっていること

4 情報通信技術の革新

- ・ICT分野の進歩、ソーシャルメディアの普及など情報通信技術が進む中、当該技 術の有効活用が重要となるとともに、併せて、情報セキュリティ対策など、情報管理 への適切な対応が求められていること
- ・地域における情報の不均衡解消と情報通信システムを活用した行政サービスの 維持・向上が必要となっていること

5 最重要課題(人口減少問題)への対応

- ・近年、約16,000人を維持していた人口が、国立社会保障人口問題研究所の推計 によれば、2040年には13,645人と大きく減少することが予想されている。
- ・人口減少は、地域経済の停滞や地域の活力の低下、さらには、福祉や教育などさ まざまな課題に繋がることから、人口減少への対応が喫緊の課題

平成37年(2025年)の目標人口(※)

15.300 人

(※)「金ケ崎町人口ビジョン」による目指すべき将来の人口を踏まえた目標人口

【金ケ崎町人口ビジョンにおける目標人口とその考え方】

・人口ビジョンについては、期間を2060年までとして設定することとされていること ・金ケ崎町人口ビジョンにおいては、合計特殊出生率を 2.07(国、岩手県と同 様)とするとともに、社会動態の改善を目指すこととして目標人口を次のとおりに設 定しているところ。

	2020年	2025年	2040年	2060年
目標人口	15,700人	15,300人	14,000人	12,000人



目標達成 ⇒ 金ケ崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略の展開

将来像実現のための対応方針(4本の基本政策と2つの視点)

I 生活環境

快適に暮らし続けられるまち

安全、安心で快適な生活環境と、豊 かな自然環境を後世に引き継ぐため のまちづくりの推進(4本の施策)

1 都市基盤

道路、公共交通、公園・住宅、 住宅・宅地の管理・整備等

2 自然環境保全

自然環境の保全、公害対策、 森林保全

3 牛活環境

本

政策

(注1

視

点

(注1

ごみ減少・リサイクルの推進、 雪対策、上下水道の整備等

4 防災・生活安全

防災、消防、防犯、交通安全 の推進等

(注1) 基本政策と視点の関係

基本政策を推進するためには、「連携・ 協働」「行財政運営」の視点により政策展 開をしていくことが重要となること

Ⅱ 健康福祉

健やかでやすらぎのあるまち

医療や福祉サービスの整備、地域福 祉の充実により、誰もが住み慣れた地 域で安心して生活できるまちづくりの 推進(6本の施策)

1 健康増進

生活習慣病の予防推進、検 (健)診体制の充実、心の健康、 、健康寿命の延伸

2 地域医療

在宅医療の推進等

3 地域福祉

地域福祉の担い手づくり、ネッ トワーク、環境整備の推進

4 児童福祉

母子保健・子育て支援の推進、 児童虐待の防止等

5 障がい者福祉

障がい者に対する生活支援、 就労・社会参加支援の推進等

6 高齢者福祉

介護予防、生きがいづくり、認 知症対策の推進等

Ⅲ 産業

産業の振興で活力あるまち

農工商調和のとれた産業を振興・育 成し、町民の豊かな生活と町民所得 の向上により、活力あるまちづくりの推 進(5本の施策)

1 農業

(水稲・園芸・畜産の支援体制 の整備、 生産基盤の整備、 農 業従事者の確保、地域ブラン ドの確立

2 工業

企業支援(人材確保、エネル ギーの安定供給を含む)、雇用 環境の維持・企業誘致の推進

3 商業

商店街の維持・整備、地域机 点商店の支援

4 観光

知名度向上、観光交流の推進、 観光産業の環境整備等

5 雇用

地元で働ける雇用の場の確保、 様々な職種が就職できる雇用 の場の確保

Ⅳ 教育文化

豊かな心を育てるまち

金ケ崎町の将来を担う子どもたちに対 する学校教育や、全ての町民に対す る生涯教育の充実により、豊かな心を 育てるまちづくりの推進(4本の施策)

1 学校教育

幼児教育·義務教育·英語教 育・特別支援教育の充実、ふ 、るさと教育の推進

2 牛涯教育

生涯教育、生涯スポーツ、読 書活動の推進等

3 文化財

文化財の保存・活用、郷土芸 能の継承

4 国際理解

国際交流の推進、ILCの理解 の醸成

...... (注2) 重点プロジェクトと金ケ崎町まち・ ひと・しごと創生総合戦略との関係

「金ケ崎町まち・ひと・しごと創生総合戦 略」で定める戦略を総合発展計画の重点 プロジェクトとして、一体的に取組を進め るもの

1 連携·協働

地域づくり組織の支援

地域協働の推進

男女共同参画の推進

情報発信•共有

2 行財政運営

広域連携 官民連携

行政サービス

健全な財政運営

組織体制

重点プロジェクト(金ケ崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略) (注2)

若者が暮らしたいまちを創る

①安定した雇用の維持と、多様な働く場の創出 ②若者同士や世代間で交流できる場の整備、支援

③出会いから結婚、子育てまでを応援する環境の整備 ④地域への誇りや愛着心が育まれる環境の整備

女性に魅力的なまちを創る

①女性にとって魅力的な働く場の創出

②都会にはない地方の魅力を発信する機会の創出

③結婚から子育てまで、切れ目のない安心できる環境の整備

④ワークライフバランスが実現できる環境の整備

活力と特色のある地域を創る

①誇りの持てる地域産業の育成

②地域内、地域外との交流の場の整備

③多様な価値観を認め合い、子育てしやすい環境の整備

④地域づくりを支援し、高齢者が活躍できる場の創出